

令和4年度 第1回 海老名市総合教育会議 次第

日時：令和4年7月16日（土）午前10時～

場所：食の創造館 2階 会議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 教育大綱について

(2) 感染症対策（マスク）について

(3) 給食について

4 発表

英語教育（ALT）について（社家小学校）

5 閉会

令和4年度 第1回

海老名市総合教育会議

令和4年7月16日（土）
食の創造館 2階 会議室

協議事項

- 1 教育大綱について
- 2 感染症対策（マスク）について
- 3 給食について

発表

英語教育（ALT）について

教育大綱について

次期海老名市教育大綱について

- ▶ 1 海老名市教育大綱とは
- ▶ 2 現行の教育大綱の策定経過
- ▶ 3 策定に向けたスケジュール

1 海老名市教育大綱とは

(1) 教育大綱とは

市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的施策
についての目標や施策の根本となる方針であり、総合
教育会議で協議し、市長が策定する。

(2) 計画期間

4年間（平成31年4月から令和5年3月まで）

(3) 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3

海老名市教育大綱

わたしたちは「ひびきあう
教育」の理念のもとに

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

- 子どもたちの
- 家庭・学校・地域の

しあわせ をめざします

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

教育施策の3つの柱

に取り組みます

「えびなっ子 しあわせプラン」の推進

- 新しい授業スタイルの確立による学力の向上
- 社会に開かれた教育課程の編成
- 小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育及び国際理解の推進
- 学校ICTの環境整備と活用

子どもと大人が ともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 社会教育計画の見直し
- 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用
- 生涯学習講座の充実

新たな学校施設への取組 と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 健康・安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

2 現行の教育大綱の策定経過

(1) 経過

平成30年9月8日 第2回総合教育会議
見直しの方向性について意見聴取

平成30年11月18日 第3回総合教育会議
教育大綱の評価の実施

平成31年2月16日 第4回総合教育会議
新教育大綱案の提示・協議

平成31年4月14日 第1回総合教育会議
新教育大綱の決定

6

2 現行の教育大綱の策定経過

(2) 見直し内容

① 「教育施策の3つの柱」の一部見直し

安全安心な環境と新たな学
校施設への取組



新たな学校施設への取組と
子育て環境の充実

② 実施事業の見直し

- 各柱における事業本数 3本 ⇒ **5本**
- 事業本数及び内容について、社会情勢に
合わせて適宜見直しを図る

7

2 現行の教育大綱の策定経過

(3) 見直しに係る意見

- 3つの柱に掲げた事業は常に見直しを図るべきである。(教育委員)
- 大綱上部のキャッチフレーズや目的、取組等は普遍的なものであり、基本的に考え方は変わらないものである。(教育委員)
- 見直す部分に関しては、変更の理由を明確にし、説明責任を果たす。(市長)

3 策定に向けたスケジュール

- 令和4年7月16日 第1回総合教育会議
- 見直しの方向性を確認
 - 次回に向けた意見聴取を依頼
- 11月26日 第2回総合教育会議
- 現教育大綱の評価の実施
 - 教育委員の意見聴取
- ～2月上旬 原案作成
- 令和5年2月25日 第3回総合教育会議
- 原案提出
- ～3月下旬 市民へ周知・意見聴取
- 4月上旬 最終案作成
- 4月下旬 第1回総合教育会議
- 新教育大綱の決定⇒公表

協議事項 2

マスクについて

10

学校の新しい生活様式ガイドライン

感染防止の3つの基本

人との距離

→密集×正面を避ける



マスクの着用

→鼻と口をきちんと覆う



手洗い

→石鹸など使ってよく洗う



「マスクの着用を原則とする」

市のHPで公開

次の場合には、必ずしもマスクを着用する必要はない

- ・ 熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合
- ・ 休み時間の外遊びなど、十分な呼吸が必要となる場合
- ・ 身体的、心理的理由により、マスクの着用が困難な場合
- ・ 体育の授業では、運動時にはマスクの着用は必要ない

11

特に今年は

**熱中症の
危険性大!**



教育長メッセージ 令和4年5月23日

**児童生徒の登下校時については、
マスクを外すことを可とする**



さらに…



「外すことをより一層積極的にはたらきかけること」を
学校・保護者宛てお知らせ

(令和4年6月27日)

12

子どものマスク着用(厚生労働省)

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合
においては、マスクを着用する必要はありません。
また、就学前のお子さんについては、
マスク着用を一律には求めています。



就学児について

(小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、
会話をほとんど行わないような場合

<例> 離れて行う運動や移動、
鬼ごっこなど密にならない外遊び

<例> 屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内

- ・人との距離が確保でき、
会話をほとんど行わないような場合

<例> 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活

屋外の運動場に限らず、
プールや屋内の体育館等を含め、
体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

13

学校の新しい生活様式ガイドライン

(現ガイドライン) **「マスクの着用を原則とする」**



次の場合には、必ずしもマスクを着用する必要はない

・……の場合

……



「マスクを着用しないことを原則とする」

次の場合には、マスクを着用すること

・……の場合

・……の場合

・……



皆さまのご意見を伺いたくお願いいたします

14

協議事項 3

給食について



15

議題③ 給食について

基本理念

海老名の子どもたち、ひとりひとりの「おいしい笑顔」のために！

基本方針

- ① 多様な食材を使った新しい献立の作成
- ② 「地産地消」による旬の食材を活用
- ③ 行事食、伝統食、イベント給食、特別給食の推進
- ④ 発達段階に合わせた食の指導の充実



16

基本計画 「魅力ある給食」を推進する4本の柱

①おいしさ

- 多様な食材の活用
- 食材をいかした味付け、調理の工夫
- 出来立てで、温かい給食の提供

17

基本計画 「魅力ある給食」を推進する4本の柱

②食材

- 安全・安心・新鮮な食材の活用
- 季節感を意識した旬の食材の活用
- 地産地消の推進

18

基本計画 「魅力ある給食」を推進する4本の柱

③献立

- 「食べたくなる献立」への工夫
- 慣れ親しませたい味、伝えたい味の提供
- 行事食、特別食の充実

19

基本計画 「魅力ある給食」を推進する4本の柱

④食育

- 食の恵や生産者へ感謝する気持ちの醸成
- 「食すること」や「食をとおして」の学びの充実
- 家庭と連携した食の学び

20

食育を推進する栄養教諭の役割とネットワーク

食育の推進における指導・相談

- 全体計画に基づく、食に関する指導の実施
- 関連教科、学級活動等における食育の実施
- 食育指導（小学校4年生対象）

21

食育を推進する栄養教諭の役割とネットワーク

ネットワークによる食育の推進

- 栄養教諭を中核としたネットワークを構築して、食育の推進を図る。

22

食の指導の充実に向けた取り組みと実績

□ 栄養教諭の出前授業

- ・ 食の指導のネットワーク化
- ・ すべての小学校で4年生を対象に出前授業の実施
- ・ 食に関する年間指導計画

□ 食育の工夫

- ・ 食育だより「もぐもぐパクパク」の発行
- ・ 「食育」の情報発信
- ・ 食育担当者会議の開催

23

食の指導の充実に向けた今後の取り組み

□魅力ある給食のための企画

- ・ インターナショナル給食
- ・ ふるさと給食
- ・ 給食献立コンテストの実施

24

おいしい笑顔に出会うために

安 全

安 心

海老名の子どもたち
ひとりひとりの「おいしい笑顔」のために！

25

令和4年度 第1回

海老名市総合教育会議

休憩時間中



26

発表

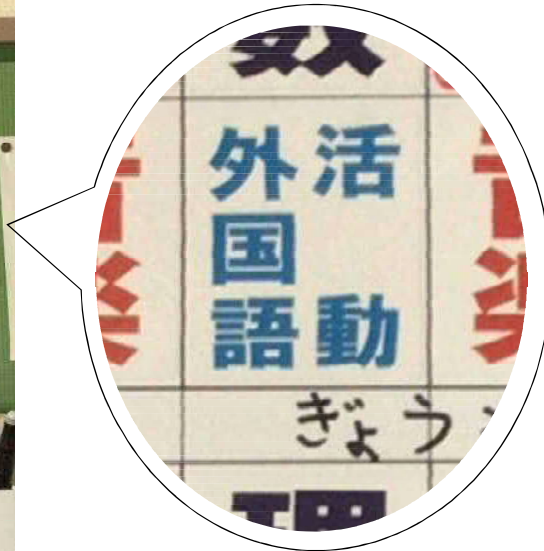
海老名市外国語教育について



27

時間割

		月	火	水	木	金
		朝会	漢字	漢字	読書	漢字
1	8:55	算数	算数	体育	理科	図工
2	9:40	音楽	外国語	音楽	理科	図工
3	10:50	社会	理科	道徳	算数	社会
4	11:40	算数	体育	国語	国語	算数
	12:25~13:05		給そ	う	食	
	13:05~13:20		そ	体	じ	
	13:20~13:40		星		み	
5	13:45	国語	国語	算数	体育	総合
6	14:30		総合	国語	国語	
	14:35					
	15:20					



28

現在の外国語教育の授業時間数

学年	授業時間数
小学校1・2年生	年間10時間程度
小学校3・4年生	年間35時間(週に1時間)
小学校5・6年生	年間70時間(週に2時間)
中学生	年間140時間(週に4時間)

29

学習指導要領より

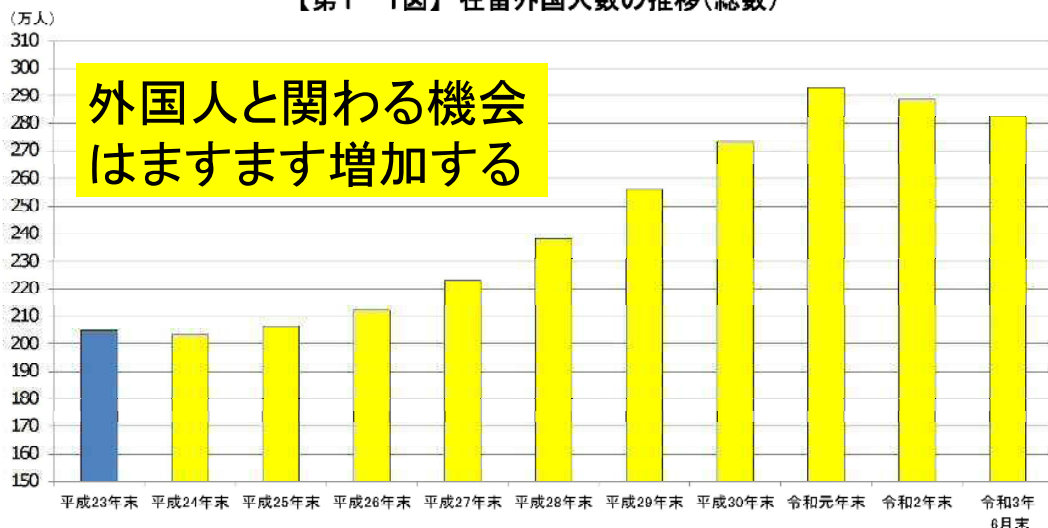
- グローバル化が急速に進展する中で、**外国語によるコミュニケーション能力は**、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、**生涯にわたる様々な場面で必要とされる。**
- 指導計画を作成し、授業を実施するに当たっては、**ネイティブ・スピーカー**や英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、**指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行うこと。**



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編より

30

【第1-1図】在留外国人数の推移(総数)

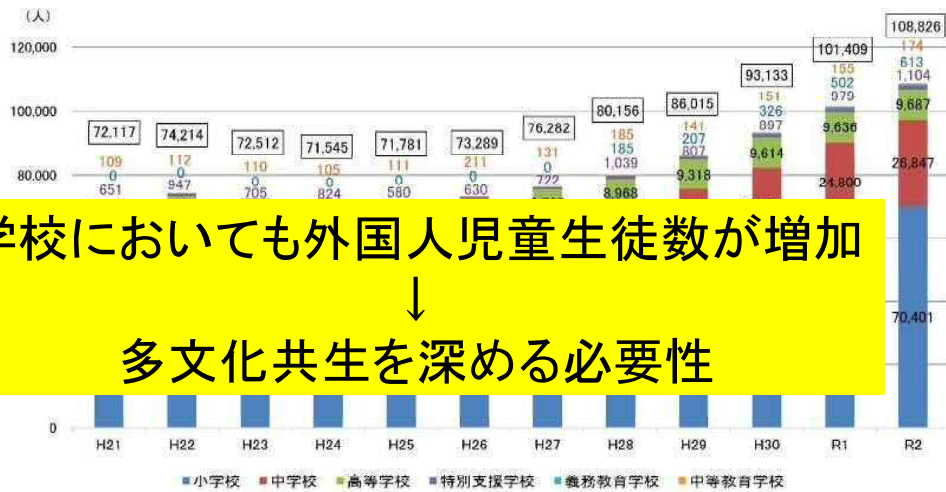


出典：出入国在留管理庁ホームページより

31

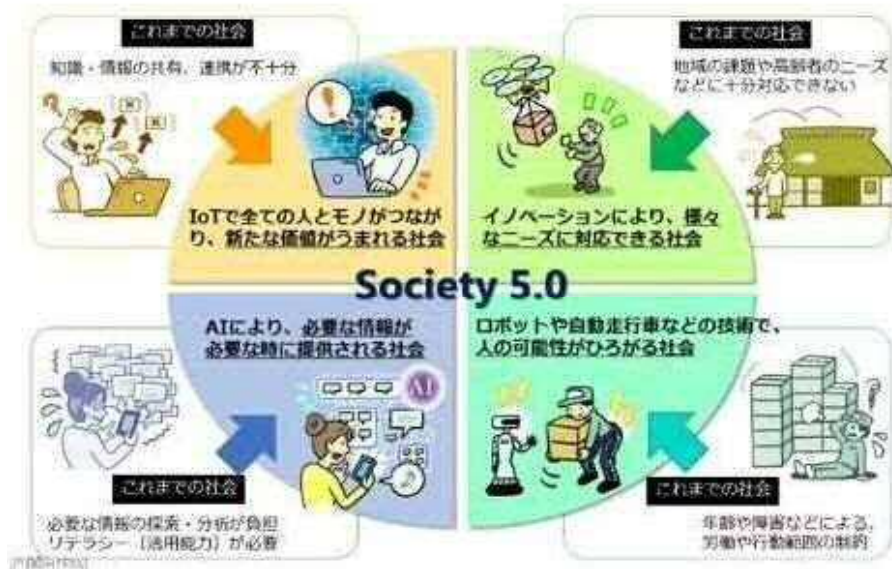
公立学校に在籍する外国人児童生徒数の推移

○公立学校に在籍する外国人児童生徒数は、12年間で約37,000人増加し、10万人を超えている。



学校においても外国人児童生徒数が増加
↓
多文化共生を深める必要性

(出典)文部科学省「学校基本統計」を基に作成



出典：内閣府ホームページより

■16年連続1位！企業が重視している「コミュニケーション能力」とは？

企業が選考で重視している要素の一位がコミュニケーション能力です。2018年度 新卒採用に関するアンケート調査結果による結果は以下の通りです。
https://www.kaidensha.com/col/07/010/110_046/

- 1位：コミュニケーション能力
- 2位：主体性
- 3位：チャレンジ精神
- 4位：協調性
- 5位：誠実さ

まとめていてわかったこととして...多くの

特徴は大きく分けて2つです。

- ・コミュニケーション能力のある
- ・向上心をもって、常に挑戦しよ

この2つを兼ね備えている人は、どの企業

企業が求める人材は16年連続「コミュニケーション能力」その打開策とは

2021年12月24日 20:30

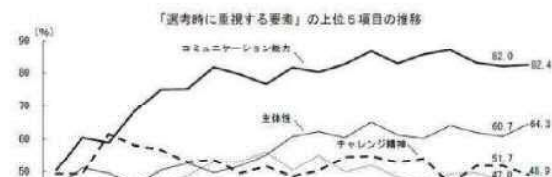
ツイート いいね0

CoCoKARA



日本経団連が調査した「企業が社員採用時に求める資質」の統計をご覧ください。

横軸が「年」で縦軸が「割合」です。



子どもたちに必要なのはコミュニケーション能力

変わる大学入試

第3章 総合的な英語力の育成・評価のあり方②

4. 総合的な英語力評価の推進の考え方

資格・検定試験活用の実態や大学の意見を勘案し、諸課題の克服の困難性を考えると、**各大学の個別試験や総合型・学校推薦型選抜試験と併せて総合的な英語力評価を推進**

共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> ✓「英語」(リスニング) ✓資格・検定試験の活用 ※受験者が増えてきた学 	<p>な限り総合的な英語力を評価)</p>
個別試験 (一般、総合、推薦)	<ul style="list-style-type: none"> 活用形態 ①資格・検定試験 ②資格・検定試験スコア ※スピーキングを含む独自の総合的な英語力テスト (実施体制が整う一部の大学、外部団体との連携による開発・採点等) 	<p>新(「高3、2回まで」等の限定は不要)代替等を行う。 (経済的事情への配慮や感染症等で検定の実施が困難となる車輦も想定し、スコアを利用しない選抜区分の設定やスコア提出が困難な場合の代替措置等が必要)</p>

スピーキングテスト

令和3年7月8日「大学入試のあり方に関する検討会議」にて

これまでの海老名市の外国語教育

第3期海老名市外国語教育実施計画



海老名市教育委員会

4 これからの海老名市外国語教育について

(1) **スタンダードデザイン**
 本市の児童生徒が、わがまち海老名で育つことに自信と誇りを持ち、身近な人々ともろもろの多様な人々ともろもろに交流し、お互いを尊重しあうが、加齢して社会に参画していく意を目標として、海老名市の外国語教育も推進する。

【海老名市外国語教育がめざす児童生徒の将来の姿】
 英語や外国語を学ぶ喜び、異文化の人々とのコミュニケーションを楽しむことができる「えびなっ子」

【身に付ける資質・能力】
 様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力
(21世紀の社会・職業に求められる)

英語の知識及び技能
(何を学んでいるか) 英語で、理解し、表現する力
(特に4技能をどう使うか)

えびなっ子が身に付ける資質・能力

【学習の場や機会】
 小・中学校の教科書や教材を基盤とし、外国語習得センター、専任の先生、習字教室、習字教室を通して日中や社会で英語で意思疎通できる表現を身に付け、習得・活用・創造を通じて外国人や外国人の観光客や外国人の観光客と交流し、コミュニケーションが楽しめる。

【学習の場や機会】
 外国語を通して4技能の活用や文化、習字、外国語を身に付けることにより、外国語コミュニケーションが楽しめる。

英語でわがまちを語り、世界の人々とのコミュニケーションを楽しむことができる「えびなっ子」



ALT(外国語指導助手)について

年度	小学校	中学校
平成14年度～		1名
平成16年度～		2名
平成19年度～		5名
平成20年度	4名	3名
平成21年度～29年度	6名	3名
平成29年度～30年度	7名	2名
平成31年度～	10名	3名

38

EnglishDay(イングリッシュデー)

1つの学校に市内のALT全員を同日に派遣し、1日を通じて英語に親しむ日を設ける。

授業で学んだことを生かしたコミュニケーション活動やゲームなどを通して、主体的に英語を使ってコミュニケーションを楽しもうとする意欲や態度を育てる。



39



40

【結果1】令和元年度 全国学力学習状況調査 中学校3年生英語の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	59.6%	59.0%	56.0%	3.6
平均正答数	12.5問 /21問	12.3問/21問	11.8問 /21問	0.7

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

全国都道府県別正答率ランキング1位は神奈川県(59.0%)。海老名市はその神奈川県の正答率をも上回る結果(59.6%)。

41

【結果2】令和3年度 英語教育実施状況調査の結果より

CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有すると思われる中学校3年生生徒の割合

海老名市	神奈川県	全国
53.2%	40.2%	47.0%

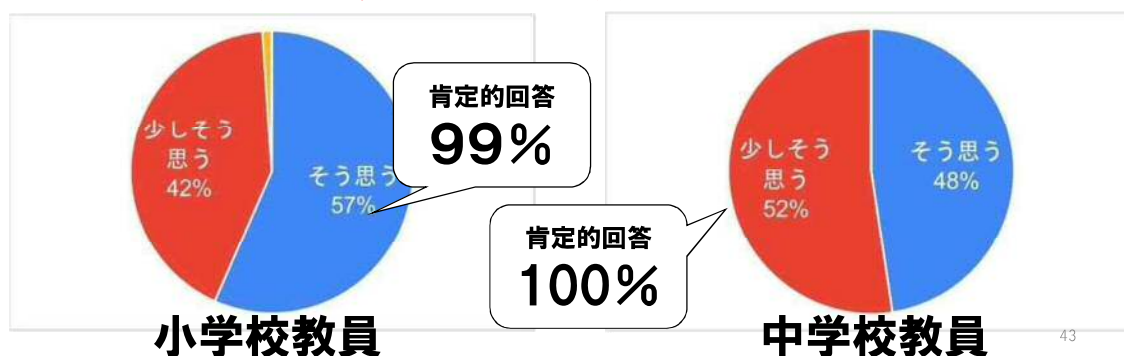
CEFR A1レベル(英検3級)相当の英語力を有すると思われる生徒は、神奈川県より13ポイントも高い結果。(全国47%と比べても約6ポイント高い)

42

【結果3】外国語教育アンケートの結果より

- 実施期間: 令和4年6月13日(月)~24日(金)
- 対象者: 小学生3年生以上の児童・中学生1~3年生の生徒・小学校教員・中学校英語科教員

ALTとの関わりは、外国語でのコミュニケーションに慣れ親しむことや、英語の技能の習得に役立っている。



43

【結果3】 外国語教育アンケートの結果より

■実施期間: 令和4年6月13日(月)~24日(金)

■対象者: 小学生3年生以上の児童・中学生1~3年生の生徒・小学校教員・中学校英語科教員

ALTとの関わりにより、児童生徒は異文化に慣れ親しむことができる。



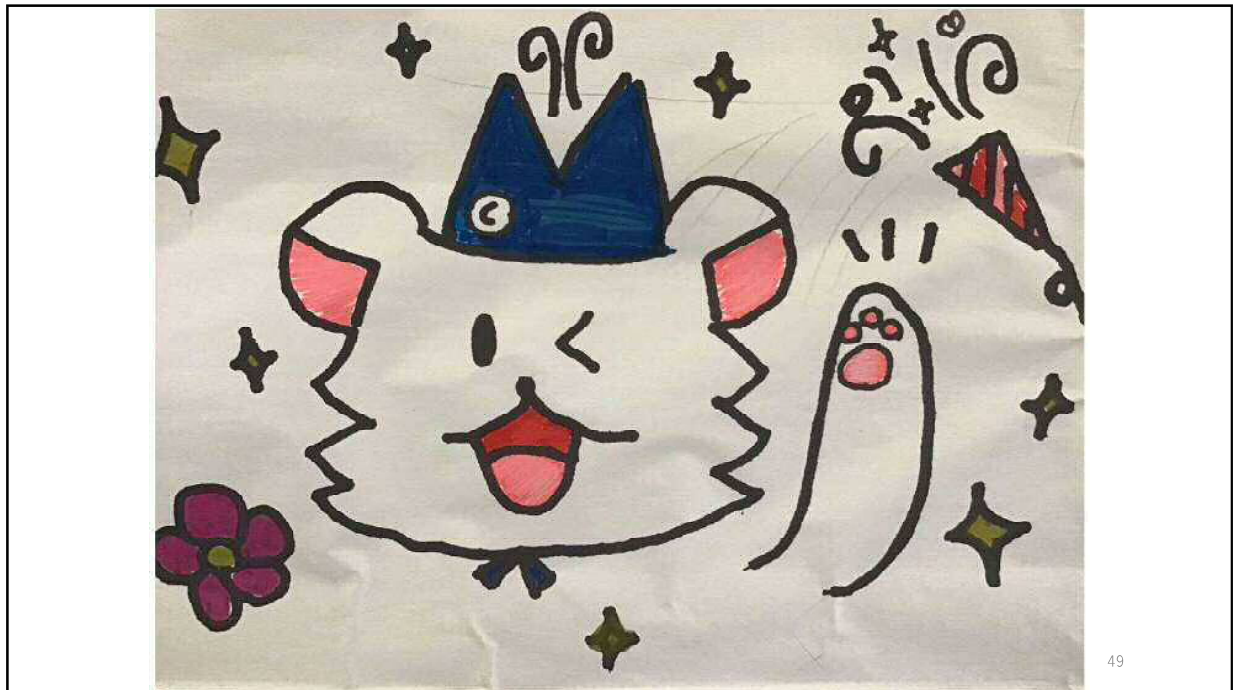
学習の成果の発表
社家小学校児童
先生方 ALT



46

学習の成果の発表
社家小学校児童
先生方 ALT

47



学習の成果の発表

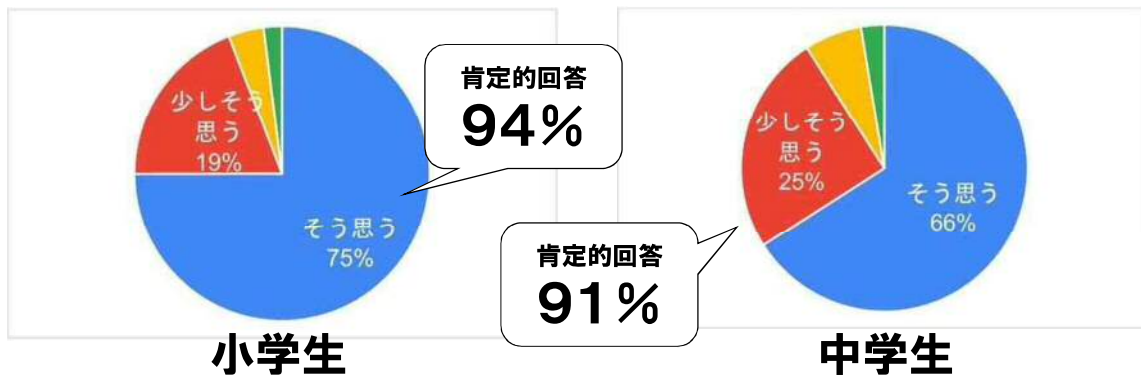
社家小学校児童

先生方 ALT

【結果3】 外国語教育アンケートの結果より

- 実施期間: 令和4年6月13日(月)~24日(金)
- 対象者: 小学生3年生以上の児童・中学生1~3年生の生徒・小学校教員・中学校英語科教員

外国語の学習は大切だと思いますか？

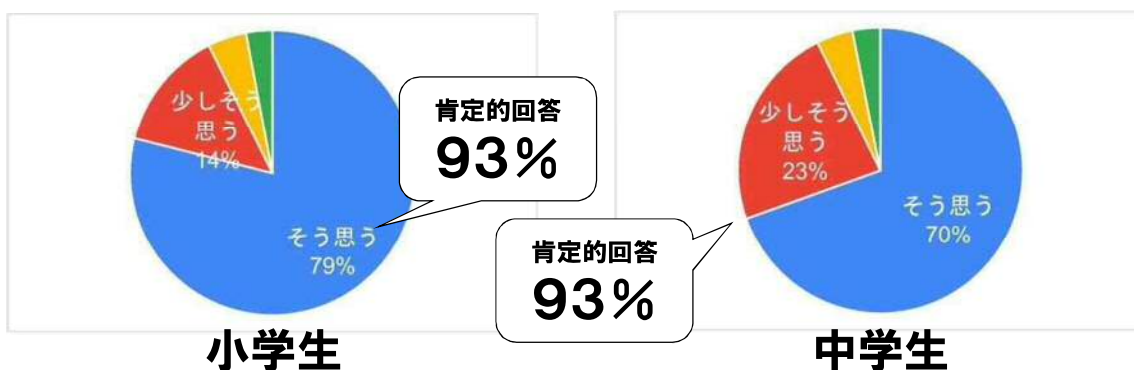


【結果3】 外国語教育アンケートの結果より

■実施期間: 令和4年6月13日(月)~24日(金)

■対象者: 小学生3年生以上の児童・中学生1~3年生の生徒・小学校教員・中学校英語科教員

外国語が使えるようになりたいですか？



外国語を「学びたい」「できるようになりたい」という えびなっ子を応援したい！

世界へ羽ばたけ！えびなっ子！



これからも海老名市は
外国語教育を
推進していきます

Thank you for your listening!

